

研究活動一覧

(注：新聞の書評等の連載につきましては多数のため除外しております)

秋林 こずえ

<書評>

『韓国の軍事文化とジェンダー』 権仁淑著, 山下英愛訳	『女性史学』年報17号 女性史総合研究会・女性史学 編集委員会	2007年8月
-----------------------------	---------------------------------------	---------

<シンポジウム>

“Gender and Peace: A Voice from Okinawa”	Illinois College-Ritsumeikan University Intercultural Exchange Program Symposium Illinois College, USA	2007年2月
--	--	---------

“Gender and Security”	International Workshop in 2007 “Gender in Asia” 国際基督教大学ジェンダー研 究センター	2007年6月
-----------------------	--	---------

“No! Base”: a Global Network”	29 th Congress of Women’s International League for Peace and Freedom Santa Cruz, Bolivia	2007年7月
-------------------------------	--	---------

“UNSCR 1325 and Japan/Okinawa”	Workshop on Women in Armed Conflict and UNSCR 1325 Bangkok, Thailand	2007年11月
--------------------------------	---	----------

「軍事主義に抗するフェミニズム～沖縄と韓国の米軍 からの報告」 コメンテーター	2007年「女性・戦争・人権」 学会大会	2007年6月
--	-------------------------	---------

<その他の文筆活動>

「No! Base 外国軍基地撤廃国際会議報告」	「女性・戦争・人権」学会ニ ューズレター21号	2007年5月
--------------------------	----------------------------	---------

「米軍基地と女性たち 軍事主義を許さない国際女性 ネットワーク」	『立命館大学国際平和ミュー ジウムだより』Vol. 15-1 立命館大学国際平和ミュー ジウム	2007年10月
-------------------------------------	--	----------

<その他>

ドキュメンタリー映画『ふくろうと私』トーク	東京都大田区国際人権週間	2007年6月
-----------------------	--------------	---------

足立 研幾

<論文>

- | | | |
|---------------------------------------|--|---------|
| 「通常兵器ガバナンスの発展と変容—レジーム間の相互作用を中心に」(単著) | 『国際政治』第148号,
104-117頁
日本国際政治学会 | 2007年3月 |
| 『新外交』による国際規範形成—国際刑事裁判所設立過程を事例として」(単著) | 『国際問題』, 2007年4月号,
35-42頁
国際問題研究所 | 2007年4月 |

<学会報告>

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|----------|
| 「国際制度形成過程における国家—NGO関係：共鳴・協働・競合」 | 日本国際政治学会, 部会13
(国際制度論の再検討) | 2007年10月 |
| 「軍縮・軍備管理問題におけるNGOの役割—協働・取込・触媒」 | 国際安全保障学会, 分科会① | 2007年12月 |

安藤 次男

<論文>

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------|
| 「異端の副大統領ヘンリー・A・ウォーレス—ポスト冷戦時代の視点から—」 | 『立命館国際研究』19巻3号
立命館大学国際関係学会 | 2007年3月 |
|-------------------------------------|-------------------------------|---------|

<翻訳>

- | | | |
|--|---------|---------|
| マーティン・ホワイト著 (佐藤誠・安藤次男・龍澤邦彦・大中真・佐藤千鶴子訳)
『国際理論 三つの伝統』(共訳) | 日本経済評論社 | 2007年7月 |
|--|---------|---------|

安齋 育郎

<著書>

- | | | |
|---------------|-------------------------------------|----------|
| 『沖縄戦はなぜおきた?』 | 『ビジュアルブック 語り伝
える沖縄』第2巻
新日本出版社 | 2007年1月 |
| 『島ぐるみの悲劇の戦争』 | 『ビジュアルブック 語り伝
える沖縄』第3巻
新日本出版社 | 2007年1月 |
| 『美ら島と米軍基地』 | 『ビジュアルブック 語り伝
える沖縄』第4巻
新日本出版社 | 2007年3月 |
| 『命どう宝のころ』 | 『ビジュアルブック 語り伝
える沖縄』第5巻
新日本出版社 | 2007年3月 |
| 『放射線と放射能』 | ナツメ社 | 2007年2月 |
| 『日本から発信する平和学』 | 法律文化社 | 2007年11月 |
| 『だましの心理学』 | PHP研究所 | 2007年4月 |

研究活動一覧

『DVD BOOK Peace Archives ヒロシマ・ナガサキ』	岩波書店	2007年8月
『だまし博士のだまされない知恵』	新日本出版社	2007年12月
<論文>		
『大学における学生参加型「平和学」講義の試み』	『立命館平和研究』 第8巻 1～10頁 立命館大学国際平和ミュージ アム	2007年3月
『「広島プロセス」は名実ともに受け容れられない』	『論産』2007年11月号 228～231頁 朝日新聞社	2007年11月
<その他の文筆活動>		
『霊能番組の自制を』	『上方芸能』 第164号 上方芸能編集部	2007年6月
『「座敷わらし」を考える』	『上方芸能』 第165号 上方芸能編集部	2007年9月
『年金から粘菌へ』	『上方芸能』 第166号 上方芸能編集部	2007年12月
『占い・霊能番組の欺瞞を暴く』	『GALAC』2007年6月号 16～19頁 放送批評懇談会	2007年6月
『「平和」のとらえ方』	『子どもと読書』第366号 親子読書地域文庫全国連絡会	2007年11月
『戦争と芸術』&『平和創造と芸術』	立命館大学国際平和ミュージ アムだより第14巻3号 3～4頁 立命館大学国際平 和ミュージアム	2007年3月
『シヴァとガネーシャの像を見ながら』	立命館大学国際平和ミュージ アムだより第14巻1号 3～4頁 立命館大学国際平 和ミュージアム	2007年8月
『子どもたちと「平和」を考える』	立命館大学国際平和ミュージ アムだより 第15巻1号 立命館大学国際平和ミュージ アム	2007年10月
<学会発表>		
『平和のための博物館』の条件	侵華日軍南京大屠殺史 国際学術研究会プロシードイ ングス 57～62頁 中国抗日戦争史学会	2007年12月

石原 直紀

<論文>

「カンボジア—国連暫定統治機構（UNTAC）と民軍関係」	『武力紛争後の復興活動における軍と非軍事諸機関の協力関係について』（平成18年度防衛省委託研究） 財団法人 平和・安全保障研究所	2007年3月
------------------------------	---	---------

<学会発表>

「国連事務局改革」（コメンテーター）	日本国際連合学会 2007年6月2日	2007年6月
--------------------	-----------------------	---------

<講演>

「国連予算の仕組みと形成過程」	広島平和構築人材育成センター （広島大学平和科学研究センター） 2007年9月20日	2007年9月
-----------------	---	---------

「日本の国際貢献」（パネルディスカッション・パネリスト）	京都国際連合協会 2007年11月17日	2007年11月
------------------------------	-------------------------	----------

板木 雅彦

<論文>

「いわゆる『のれん代』からみた多国籍企業と世界経済の変容」	『季刊 経済理論』 第44巻1号，4 - 11ページ 経済理論学会編	2007年4月
-------------------------------	--	---------

及川 正博

<論文>

「『代価』における大恐慌を巡る兄弟対立の象徴的意味」	『比較生活文化研究』第13号， 9 - 23頁 日本比較生活文化学会	2007年3月
----------------------------	--	---------

<その他の文筆活動>

英文テキスト編注	Good News (Book 1)	桐原書店	2007年2月
----------	--------------------	------	---------

英文テキスト編注	Good News (Book 2)	桐原書店	2007年3月
----------	--------------------	------	---------

大島 堅一

<著書>

水谷洋一・酒井正治・大島堅一編著『地域発！ストップ温暖化ハンドブック —戦略的政策形成のすすめ』	昭和堂	2007年10月
--	-----	----------

<論文>

「再生可能エネルギー普及に関するイギリスの経験—競争入札制の仕組みと実際—」	『立命館国際地域研究』 第25号，pp. 1-18	2007年3月
--	------------------------------	---------

研究活動一覧

- 「再生可能エネルギー普及に関するドイツの経験－電力買い取り補償制の枠組みと実際－」 『立命館大学人文科学研究所紀要』第89号, pp. 71-97 2007年3月
- “Comparing market based renewable energy regimes: the cases of the UK and Japan” *International Journal of Green Energy*, 4 (4), pp. 409-425 2007年
- 「進む温暖化 IPCC第4次報告書を読む」 『農業と経済』 pp. 5-11 2007年11月
- 「京都議定書と2013年以降の課題」 『経済』 pp. 58-64 2007年10月
- <講演>
- IPCC第4次評価報告書 第3部作業部会第4章エネルギー供給について 地球環境と大気汚染を考える 全国市民会議 2007年7月7日 2007年7月7日
- <研究発表>
- Cost analysis of electricity in Japan 12th Annual Meeting of Reform Group 2007年9月28日 2007年9月
- <その他の文筆活動>
- 「環境費用とその負担に関する一試論」 ワーキングペーパーシリーズ No.IR2006-2 立命館大学国際関係学会 2007年3月

大空 博

<論文>

- 激動の現代史を拓いた「目撃者」の眼—今も生きるハルバースタムのベトナムへの想いと記憶 『新聞研究』2007 7 No.672 2007年7月 日本新聞協会

小木 裕文

<著書>

- 『新馬華文文学評論集二』 欧清池編（共著） 斯雅舎出版 2007年12月

<論文>

- 「東馬・沙巴華人社会与華文教育」 『新世紀学刊』第七期 斯雅舎出版 2007年12月

奥田 宏司

<著書>

- 『円とドルの国際金融—ドル体制下の日本を中心に—』 ミネルヴァ書房 2007年11月

<論文>

- 「世界の外貨準備の膨張について—いくつかの論点の整理」 『立命館国際研究』19巻3号 2007年3月
215-234頁
立命館大学国際関係学会
- 「ユーロ建貿易の広がりについて—「ユーロ体制」論構築にむけての一階梯—」 『立命館国際研究』20巻1号 2007年6月
1-21頁
立命館大学国際関係学会

夏 剛

<論文>

- 「全球（グローバル）化」時代の「発展中（途上）大国」・中国の光と影
——総合的国力・社会問題の諸相と展望 『立命館国際研究』19巻3号 2007年3月
235-262頁
立命館大学国際関係学会
- 「中日社会，文化多面比較：風土，国情篇——地縁人文層次的考察（4）」 『立命館国際研究』20巻1号 2007年6月
23-85頁
立命館大学国際関係学会
- 「中日社会，文化多面比較：風土，国情篇——地縁人文層次的考察（5）」 『立命館国際研究』20巻2号 2007年10月
29-99頁
立命館大学国際関係学会
- 「日本対華観的深層情結和心路」 『世界知識』2007年9号（総1460号）24-27頁
[北京]世界知識出版社

<その他の文筆活動>

- 「温家宝総理在立命館大学交流側記」 『世界知識』2007年9号（総1460号）28-29頁
[北京]世界知識出版社

<シンポジウム発表>

- 以「文温」輔「経熱」，融「政冷」：増進中日相互理解的治本之路 上海同济大学亞洲太平洋研究中心主催国際シンポジウム「構築中日戦略互惠関係と促進民間相互理解」 2007年11月

<研究会発表>

- 日中間の生活習慣の相違と意思疎通の障碍 日本比較生活文化学会西日本定例研究会 2007年4月

加藤 恒彦

<書評>

- 行方均 『記憶の語りと語りの記憶——アーネスト・J. ゲインズ，デイヴィッド，ブラッドリー，リチャード・ライト，』（南雲堂フェニックス，2005年） 黒人研究 No.76 2007年3月
黒人研究会の会

桂 良太郎

<著書>

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|----------|
| 『各国の社会福祉
「ベトナム シンガポール マレーシア」』(単著) | 『エンサイクロペディア社会
福祉学』
中央法規 | 2007年11月 |
| 『各国の社会福祉の現状「ベトナム」』(単著) | 『世界の社会福祉年鑑 2007
年版』
旬報社 | 2007年11月 |

<論文>

- | | | |
|--|---|---------|
| 「国際福祉と平和研究・教育の重要性について—あらたな平和・福祉社会のパラダイムモデルを求めて—」(単著) | 『立命館平和研究』—第8号
pp. 11 - 15
立命館国際平和ミュージアム | 2007年3月 |
|--|---|---------|

<学会発表>

- | | | |
|---|--|----------|
| Importance of International Welfare and Peace Education: From the Relation with Welfare for Disabled People | 19th Asia Pacific Social Work Conference (Abstracts)
pp. 4-5
19th Asia Pacific Social Work Conference
Penang Malaysia | 2007年9月 |
| 都市再生とユニバーサルヒューマンライツ—国際福祉と平和学の視点から— | 第7回韓・中・日国際居住問題研究会議収録集
pp. 41-42
韓・中・日国際居住問題国際居住問題会議 ソウル 韓国 | 2007年10月 |

河村 律子

<研究発表>

- | | | |
|---------------------------|-------------------|----------|
| 「消費者の食品リスク認知の特質に関する予備的分析」 | 日本リスク研究会第20回研究発表会 | 2007年11月 |
|---------------------------|-------------------|----------|

<その他の文筆活動>

- | | | |
|---------------------------------|---|---------|
| 「システムを利用したグローバル・シミュレーション・ゲーミング」 | 『大学教育と情報』Vol.15
No.3 pp.18-20
社団法人 私立大学情報教育協会 | 2007年1月 |
|---------------------------------|---|---------|

君島 東彦

<論文>

- | | | |
|-----------------------------|--|---------|
| 「東アジアの平和と日本国憲法——施行60年目の再検討」 | 『立命館平和研究——立命館大学国際平和ミュージアム紀要』8号, 23-27頁 | 2007年3月 |
| 『「脱安全保障化」としての日本国憲法』 | 千葉真・小林正弥編著『平和憲法と公共哲学』
晃洋書房, 22-33頁 | 2007年9月 |

- 「国連改革と日本国憲法」 松井芳郎編『人間の安全保障と国際社会のガバナンス』 2007年9月
日本評論社, 99-113頁
- <学会発表>
- 部会I「デモクラシー崩壊の諸相」 日本平和学会春季研究大会 2007年6月
分科会「憲法と平和」 於・早稲田大学
2007年6月9日・10日
- <講演>
- 「国際政治とNGO」 八幡市立生涯学習センター主 2007年2月
催「国際政治セミナー」
2007年2月10日
- 「グローバル化と憲法第9条」 憲法再生フォーラム公開講演 2007年6月
会
於・法政大学
2007年6月22日
- <シンポジウム発表>
- “Peace in East Asia and the Japanese Constitution:
A Reexamination 60 Years After Its Making” イリノイ・カレッジ・立命館 2007年3月
大学共催学術シンポジウム
“Global Issues, Peace Studies,
and Intercultural Education”
於・イリノイ・カレッジ
2007年3月1日～3日
- “Japan’s Contribution to Global Constitutionalism” 日本学術振興会・アメリカン 2007年11月
大学共催学術シンポジウム
“Globalization and Japan:
Challenges from Social
Changes”
於・アメリカン大学
2007年11月16日
- <その他の文筆活動>
- 「作品としての平和学」 日本平和学会ニューズレター 2007年4月
17巻3号 2007年4月20日
- 小山 昌久
- <著書>
- 『世界銀行と人間開発』 講座 人間の安全保障と国際 2007年7月
組織犯罪
第一巻「グローバル化と人
間と人間の安全保障」
338-356頁
日本評論社

佐藤 誠

<著書>

Giorgio Shani, Makoto Sato and Mustapha Kamal Pasha eds., *Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights* (共編) pp. 1-226 Palgrave Macmillan 2007年11月

<翻訳>

マーティン・ホワイト著 (佐藤誠・安藤次男・龍澤邦彦・大中真・佐藤千鶴子訳) 『国際理論 三つの伝統』 (共訳) pp1 - 437 日本経済評論社 2007年7月

<論文>

「人間安全保障概念の再検討とアフリカ研究」 『アフリカ研究』, 71号, pp. 101-106 2007年12月
日本アフリカ学会

<研究報告>

「日本人の安全保障認識とそのジレンマ—人間の安全保障と国家の安全保障」 立命館大学国際関係学部創立20周年記念シンポジウム「グローバル化の行方と民主政の展望」 2007年3月

「日本のアフリカ外交—歴史にみるその特質」 アジア経済研究所ワークショップ「成長するアフリカ—日本と中国の視点」 2007年9月

末近 浩太

<論文>

末近浩太「グローバル化と国際政治(2):『イスラーム』の『外部性』をめぐって」 講座・人間の安全保障と国際組織犯罪 第1巻 日本評論社 2007年
大久保史朗編『グローバル化と人間の安全保障』

末近浩太「『9.11』後の国際政治におけるイスラーム:認知論的再考」 『二十世紀研究』第8号 2007年12月

<翻訳>

末近浩太 (訳・注解) 「ヒズブラーのレジスタンス思想:ハサン・ナスルラー『勝利演説』」 『イスラーム世界研究』第1巻, 第1号 2007年4月

<学会発表>

「アラブ諸国における宗教とナショナリズム:レバノンの宗派主義体制の事例から」 (部会7「民族紛争における宗教の位相」) 日本国際政治学会2007年度研究大会 福岡国際会議場 2007年10月

<講演>

「レバノン:多文化主義のアボリアと国際政治」 国際交流基金・異文化理解講座「中東における民主化の諸相」 2007年3月

「国際政治におけるイスラーム：認知論的再考」	京都大学文学部現代史学研究 室創設40周年記念シンポジウ ム「『9.11』から6年：事件と その後の世界をどのように考 えるか」	2007年7月
「レバノンにおける民主主義とナショナリズム：ヒズ ブラーの言説を中心に」	慶應大学21COE-CCC 市民意識比較研究カンファレ ンス 市民意識比較研究サブユニッ ト	2007年7月
「パレスチナ問題と21世紀の中東政治」	西宮東高校開放講座, 木曜講 座 「自爆テロの陰で：イスラ ーム政治と現代世界」 なるお文化ホール	2007年11月
「ヒズブラーとは何か：イスラーム運動とシリア・ レバノン政治」	国際交流基金・異文化理解講 座 「シリア・レバノンで何が起 きているのか?：中東地域情 勢の意味に迫る」	2007年12月
<調査報告>		
青山弘之編, 青山弘之・末近浩太著「現代レヴァン ト諸国の政治構造とその相関関係」調査報告書	独立行政法人日本貿易振興機 構アジア経済研究所	2007年3月
高橋 伸彰		
<学会発表>		
「小泉・安倍政権の経済政策」	パネリスト: 翁邦雄 (中央大 学), 高橋伸彰 (立命館大学), 松原聡 (東洋大学) 司会者: 飯尾潤 (政策研究大学院大学) 公共政策学会 2007年6月9日	2007年6月
<調査報告>		
「少子高齢社会への対応の在り方」	参議院少子高齢調査会に関す る調査会 2007年02月14日	2007年2月
<その他>		
「参議院選職者座談会」	京都新聞ほか (共同通信配 信) 参加者: 田中秀征, 大宅映子, 高橋伸彰 (2007年7月31日)	2007年7月

竹内 隆夫

<論文>

「社会変動と農村家族—東北タイ農村の事例から」	平成15年度～平成18年度科学研究費補助金(基盤研究B1)研究成果報告書 『21世紀東アジアにおける農村—都市関係の再編に関する研究』 pp149-169	2007年3月
-------------------------	---	---------

龍澤 邦彦

<翻訳>

マーティン・ワイト著 (佐藤誠・安藤次男・龍澤邦彦・大中真・佐藤千鶴子訳) 『国際理論 三つの伝統』(共訳)	日本経済評論社	2007年7月
--	---------	---------

<講演>

「成熟したアナーキーな社会の統治形態としてのグローバル・ガバナンス」	国際関係学部20周年記念シンポジウム (2007年3月2日)	2007年3月
------------------------------------	--------------------------------	---------

中川 涼司

<著書>

『中国のIT産業—経済成長方式転換の中での役割—』(単著)	ミネルヴァ書房	2007年3月
-------------------------------	---------	---------

<論文>

「IT産業—二面化されたガーシェンクロン型キャッチアップモデル—」	財団法人国際貿易投資研究所 『平成18年度 第11次5ヵ年計画期における中国の産業発展と技術進歩報告書』 財団法人国際貿易投資研究所	2007年3月
-----------------------------------	--	---------

「華為技術と联想集団—『走出去』における2つのプロセス—」	財団法人国際貿易投資研究所 『平成18年度 中国企業の多国籍企業化報告書』 財団法人国際貿易投資研究所	2007年3月
-------------------------------	---	---------

「中国における企業ガバナンスと市場ガバナンス—会社法改正と独占禁止法制定に関する動きから—」	『立命館国際研究』第19巻第3号 立命館大学国際関係学会	2007年3月
--	------------------------------	---------

<その他>

「IT—復調への動きとIT消費格差」(業界消息)	『中国産業動向季報』通巻第10号 新華通信ネットジャパン	2007年2月
--------------------------	------------------------------	---------

西村 智朗

<論文>

“Kyoto Compliance Regime: its contents and effects on other internal systems” 法経論叢第24巻第2号 2007年3月
25-47頁
三重大学社会科学学会

「人間の安全保障と気候変動—持続可能な発展との関連性に着目して」 松井芳郎編『講座人間の安全保障と国際組織犯罪 4人間の安全保障と国際社会のガバナンス』241-260頁 2007年9月
日本評論社

<学会発表>

「ポスト2012年の将来枠組みと環境法の基本原則『持続可能な発展原則』」 環境法政策学会（第11回学術大会） 2007年6月
上智大学 2007年6月10日

原 毅彦

<著書>

『世界の食文化 13巻 中南米』（共著） 農村漁村文化協会 2007年3月

星野 郁

<著書>

上川孝夫・矢後和彦編、『国際金融史』 第7章「欧州通貨統合史」 2007年2月
pp. 219-48.
有斐閣

岩本武和, 奥和義, 小倉明浩, 金早雪（共著） 第9章「ヨーロッパ経済の現状と課題」 pp. 266-95.
『グローバル・エコノミー（新版）』 第10章「単一通貨ユーロの現状と展望」 pp. 296-324.
有斐閣アルマ 2007年7月

本名 純

<論文>

「ユドヨノ大統領と民主化第二フェーズ——政治改革・紛争後復興・首長選挙を中心に」 『東南アジア研究』45巻1号, 2007年6月
pp. 12-36.
京都大学東南アジア研究所

「マフィア・国家・安全保障——東南アジアにおける越境犯罪の政治分析」 『国際政治——周辺からの国際政治』第149号, pp. 127-140 2007年11月
日本国際政治学会

“Transnational Crime and Human Insecurity in Southeast Asia”	Giorgio Shani, et.al, ed., Protecting Human Security in a Post-9/11 World: Critical and Global Insights, pp. 97-114. (London: Palgrave Macmillan, 2007)	2007年11月
<研究発表>		
「東アジアの非伝統的安全保障問題」	「アジアの課題と日本研究会」 総合研究開発機構 2007年4月20日	2007年4月
“The Legacy of New Order Military in Indonesia’s Local Politics”	Workshop of (In) formal Violence and Democratization in Southeast Asia, organized by JSPS Core University Program, Center for South- east Asian Studies, Kyoto University, 5 May 2007	2007年5月
“Building Regional Architecture for Non-Traditional Security Issues: Transnational Crimes”	The NEAT Working Group Meeting on Overall Architecture of Community Building in East Asia, 14 June 2007, Tokyo	2007年6月
“Politics of Security Sector Reform in Indonesia”	International Workshop, “Security and Violence in Contemporary Southeast Asia,” Chaing Rai, Thailand, 18-19 July 2007	2007年7月
「インドネシアの政局に関する展望」	国際情勢研究会, 7月13日	2007年7月
“Overall Architecture of Community Building in East Asia: Regional Architectures for Non-Traditional Security and Environmental Cooperation in East Asia,”	East Asia Cooperation: Towards Sustainable Development and Prosperity, 5th Annual Conference of Network of East Asian Think-Tanks (NEAT), Meritus Mandarin Singapore, 21 August 2007.	2007年8月
「東アジアにおける越境犯罪に対する日台海上保安協力の重要性」	第2回日台周辺海域における 海上保安フォーラム, 福華国 際文教会館, 台湾 11月29日	2007年11月
「東アジアにおける越境犯罪と日本の地域協力——海賊（海洋犯罪）問題を中心に」	東京財団「外交・安全保障プ ログラム・アジア研究プロジ ェクト」12月12日	2007年12月
“Combating Maritime Transnational Crime in Asia: Governance at Sea and Regional Cooperation among Law Enforcement Agencies”	3rd Japan-Indonesia Maritime Security Dialouge, sponsored by OPRF, Batam, Indonesia, 17 December 2007	2007年12月

立命館国際研究 20-3, March 2008

<その他の文筆活動>

- | | | |
|-----------------|---|---------|
| 「新生アチェの船出とジレンマ」 | 『世界週報』
2007年3月6日号, pp. 52-53
時事通信 | 2007年3月 |
| 「アジアの非伝統的安全保障」 | NIRA 対談シリーズ Vol.22,
15p.
総合研究開発機構 | 2007年8月 |

松下 冽

<著書>

- | | | |
|------------------------|---------------|---------|
| 『途上国の試練と挑戦—新自由主義を超えて—』 | ミネルヴァ書房 全292頁 | 2007年9月 |
|------------------------|---------------|---------|

<論文>

- | | | |
|---|---|----------|
| 「ポスト新自由主義へ向かうラテンアメリカ」 | 『季刊 現代の理論』10号
pp. 23-33
現代の理論 | 2007年2月 |
| 「脱権威主義に向かうメキシコ
—『政治空間としての分権化』—」 | 『立命館国際研究』20巻1号
pp. 87-110
立命館大学国際関係学会 | 2007年6月 |
| 「メキシコにおける分権化と市民社会の相互発展
—ローカルな民主化を超えて—」 | 『立命館国際研究』20巻2号
pp. 1-27
立命館大学国際関係学会 | 2007年10月 |
| <報告書> | | |
| 「メキシコとブラジルにおけるローカルな共有型分権
化モデルの新たな実験」 | 平成16年度～18年度
科学研究費補助金
研究成果報告書（基礎研究C） | 2007年3月 |

松田 正彦

<学会発表>

- | | | |
|--------------------------------------|--|----------|
| 「農業技術からみたミャンマー稲作—中国国境からの
技術変容」 | ビルマ研究会全国大会 | 2007年5月 |
| 「ミャンマー稲作の中長期的展開—生態区と農業開発
政策の視点から」 | 『熱帯農業』51(別2):35-36.
日本熱帯農業学会(第102回
大会) | 2007年10月 |
| 「ミャンマー・シャン州北部におけるハイブリッド稲
作の拡大」 | 『熱帯農業』51(別2):37-38.
日本熱帯農業学会(第102回
大会) | 2007年10月 |

三宅 正隆

<論文>

- | | | |
|----------------|--------------------------------------|---------|
| 「コトバとその起源を巡って」 | 『Re』No.154 pp. 11-16
財団法人建築保全センター | 2007年4月 |
|----------------|--------------------------------------|---------|

文 京洙

<著書>

- | | | |
|------------------|------|---------|
| 『在日朝鮮人問題の起源』 | クレイン | 2007年3月 |
| 『在日外国人の住民自治』（共著） | 新幹社 | 2007年5月 |

森岡 真史

<書評>

- | | | |
|---------------------|-----------------------------------|----------|
| 山田鋭夫他編『現代資本主義への新視角』 | 『季刊経済理論』（経済理論学会）第44巻3号, pp. 84-86 | 2007年10月 |
|---------------------|-----------------------------------|----------|

山下 範久

<論文>

- | | | |
|--------------------|-----------------------------|----------|
| 「歴史としての大きな物語批判」 | 『神奈川大学評論』第57号, 83-91頁 | 2007年7月 |
| 「従来型世界システム論の3つの限界」 | 『10+1』第48号 55-56頁
INAX出版 | 2007年9月 |
| 「スルーから見た世界システム」 | 『季刊 at』第9号, 6-17頁
太田出版 | 2007年10月 |
| 「システム概念の再導入（1）」 | 『10+1』第49号 67-69頁
INAX出版 | 2007年12月 |

<研究発表>

- | | | |
|----------|---------------------------------------|----------|
| 空間概念の前景化 | 「グローバル化と公研性」研究会
立命館大学（2007年11月16日） | 2007年11月 |
|----------|---------------------------------------|----------|

<講演>

- | | | |
|---|---|----------|
| ワインで語るグローバリゼーション | アカデミー・デュ・ヴァン 東京校
（2007年11月22日） | 2007年11月 |
| 柄谷行人氏 講演「理念と仮象」コメンテーター
「『構築』に抗する平和」パネルディスカッション・
パネリスト | 立命館大学国際関係学部創立
20周年記念行事
（2007年12月8日） | 2007年12月 |

<その他の文筆活動>

- | | | |
|-----------------|--|---------|
| 「これからの国家 3つの視点」 | 読売新聞 2007年9月29日
付夕刊（ウイークエンド文
化面） | 2007年9月 |
|-----------------|--|---------|

<その他>

- | | | |
|-------------------------|---------------------------------|----------|
| 「フランスワイン危機」テレビ出演スタジオゲスト | 『クローズアップ現代』NHK
（2007年10月25日） | 2007年10月 |
|-------------------------|---------------------------------|----------|

山田 人士

<講演>

「日本語教育と文化リテラシー」 (財)京都日本語教育センター 2007年6月
(2007年6月9日)

若菜 マヤ

<学会報告>

“Impression Management in Henry James’s ‘An International Episode.’” Second International Conference on Consciousness, Theatre, Literature and the Arts (学会名) 2007年5月
University of Wales, Aberystwyth
May 5th - 7th, 2007

<その他>

“Impression Management in Henry James’s ‘An International Episode.’” (プロスペクタス) Cambridge Scholars Publishing, pp. 250-259 2007年12月

Giorgio SHANI

<著書>

Protecting Human Security in a Post 9/11 World Critical and Global Insights (編集 佐藤誠・PASHA Mutapha Kamal) 9780230006454 2007年11月
Palgrave Macmillan

Sikh Nationalism and Identity in a Global Age 978-0-415-42190-4 2007年12月
Routledge

<論文>

‘Provincialising Critical Theory: Islam, Sikhism and International Relations’ Cambridge Review of International Affairs, pp. 417-434 2007年9月
Routledge Volume 20, No. 3

‘Conclusion’ Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights, edited with M. Sato and M.K. Pasha,, pp. 193-200. Palgrave Macmillan 2007年11月

‘Globalization, The “War on Terror” and Human In/Security in South Asia’ Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights, edited with M. Sato and M.K. Pasha, pp. 115-30. Palgrave Macmillan 2007年11月

“Democratic Imperialism, Neo-Liberal Globalization and Human In/Security in the Global South” Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights, edited with M. Sato and M.K. Pasha, pp. 17-30. Palgrave Macmillan 2007年11月

- 'Introduction: Protecting Human Security in a Post 9/11 World' Protecting Human Security in a Post 9/11 World: Critical and Global Insights, G.Shani, M. Sato and M.K. Pasha, pp. 1-17 Palgrave Macmillan 2007年11月
- <書評>
- 'Sikhs in Britain: The Making of a Community' Ethnic and Racial Studies, Routledge Volume 30, No. 5 pp. 946-7. 2007年9月
- <学会発表>
- 'Provincializing Western IR: The Umma, Khalsa Panth and Critical International Theory' 第48回国際研究学会 (ISA), シカゴ, 米国
48th Annual Convention of the International Studies Association (ISA), Chicago, USA, 2007年2月
- 'Towards a De-secularized Transnational Civil Society? Transnational Religious Actors and International Relations' 第6回ヨーロッパ国際関係研究会 (SGIR) トリノ, イタリア
6th Pan-European International Relations Conference, Torino, Italia
2007年9月13日 2007年9月
- Michael SUTTON**
- <論文>
- "The American Trade System" 『Social System Studies』 No. 14
The Institute of Social Systems
Ritsumeikan University 2007年3月
- "The World Trade Organization, Economic Development And Prosperity" 『立命館国際研究』19巻3号
立命館大学国際関係学会 2007年3月
- "Free Trade Agreements, the World Trade Organization and Open Trade" 『立命館国際研究』20巻1号
立命館大学国際関係学会 2007年6月
- "APEC and the Public Good" 青山学院大学WTO研究センター客員研究員 2007年8月
- "The WTO, Border Security and National Prosperity" 『Social System Studies』 No. 15
The Institute of Social Systems
Ritsumeikan University 2007年9月
- "Free Trade in Goods and Services: Open Regionalism and The Asia Pacific" 『立命館国際研究』20巻2号
立命館大学国際関係学会 2007年10月
- "Practical Foundations for an Asia Pacific Economic Community: The Case Study of the APEC Standards and Conformance Strategy" 『Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies』 Vol. 23
Ritsumeikan Center for Asia Pacific Studies, Ritsumeikan Asia Pacific University 2007年11月
- "The Future of Asia Pacific Regionalism and APEC: Towards 2030 and Beyond" 『Ritsumeikan Annual Review of International Studies』 Vol. 6 2007年12月

立命館国際研究 20-3, March 2008

“Open Regionalism and the Asia Pacific:
Implications for the Rise of an East Asian Economic
Community”

『Ritsumeikan International
Affairs』 Vol. 5

2007年

<研究発表>

Maritime Logistics and the World Trading System

2007 International Conference on
Logistics, Shipping and Port
Management
Emerging Asia: Challenges
and Opportunities
Kainan University, Taoyuan,
Taiwan March 29-30, 2007

2007年3月

The Future of Japanese Society and the
Vulnerabilities of Population Decline

4th International Conference
on Population Geographies,
The Chinese University of
Hong Kong 10-13 July 2007

2007年7月

<講演>

“The WTO and Border Security”

青山学院大学 WTO 研究セン
ター客員研究員
December 17, 2007

2007年12月

Peter MAUCH

<著書>

“Historical Dictionary of United States-Japanese
Relations”

Scarecrow Press

2007年2月